



地域おこし企業人起用で健康プロジェクト本格始動

（株）ルネサンス 矢野 傑さん

「地域おこし企業人」は、都市圏に勤務する大企業の社員を市町村に派遣し、民間で培ったノウハウや人脈を活かして、地域の産業振興や魅力向上を目指す総務省のプログラム。「地域おこし協力隊」の企業版とも言え、官民の人材交流によって、新たな経験と意識改革などの相乗効果が期待されています。

伯耆町は平成29年1月から3年間、全国で120以上のフィットネスクラブを展開する（株）ルネサンスの矢野傑さん（32）を地域おこし企業人に迎え、岸本保健福祉センター内に新設するスポーツジム「フィットネス&スタジオ パル」で、「ほろき健康経営プロジェクト」に取り組みます。

なお、この施設が多くの人に親しまれ、利用していただけるようお願いを込めて、岸本保健福祉センターを「PAL PLUS ON（パル・プラス・オン）」という愛称にします。



矢野 傑さん

ごあいさつ

このたび、伯耆町をさらに盛り上げるべくやってきました。「PAL PLUS ON」という名称には、「温かさ」や「加わる」という意味があります。この施設を通して、より多くの方に、笑顔と新たなライフスタイルの提案を行いたいと思います。

私の生まれ故郷は、人口1万4千人の屋久島という小さな島です。伯耆町は生まれ故郷と似ているところも多く、穏やかな気持ちになります。第2の故郷と思い、伯耆町の生活を皆様と一緒に楽しみたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

12月26日(月) 特殊詐欺被害を未然に阻止

「プリペイドカードを購入させる特殊詐欺を未然に防いだ」として、黒坂警察署は12月26日（月）、ファミリーマート伯耆溝口店の店長・島崎大介さんに感謝状を贈呈しました。

先月21日18時頃、女性客が店内の情報端末機（チケットの予約購入や代金の支払いができる機械）を利用し、携帯電話で話しながら、プリペイドカード（会計時に現金代わりとして使える商品券のような、前払い機能を持つカード）を購入しようとしていました。

女性から端末機の操作方法を聞かれた島崎店長は、その言動から詐欺を疑い、黒坂警察署へ通報しました。

同署によると、犯人はN.T.T職員を装い、女性に「有料サイトの未払い金がある」と電話し、プリペイドカードを購入させ、カードに記載された番号を開き出して、その額面をだまし取ろうとしていたようです。島崎店長の適切な声掛けによって、女性は被害を免れました。

同署では、お金に関する電話は詐欺だと思っ注意するよう呼びかけています。



▲感謝状を受け取る島崎大介店長



12月23日(金) 雪不足で待ち遠しい初滑り

大山ますみず高原スキー場開き祭

山ますみず高原スキー場で12月23日、スキー場開き祭が開催されました。12月下旬は暖かい日が続き、ゲレンデは2季連続の雪不足。同日予定していたオープン延期して、安全祈願祭などを行いました。

安全祈願祭では、スキー場関係者などが、今シーズンの安心安全を祈願しました。また、会場では来場者に温かい豚汁が振る舞われたほか、豪華賞品が当たる宝探しが行われ、たくさんの方が訪れました。

その後、同月29日に約30センチの積雪に恵まれ、年末年始は、オープンを待ち望んでいた冬休み中の家族連れなどで賑わいました。



▲スキー場を運営するエムケイ開発(株)河上貴一社長らが安心安全を祈願



▲温かい豚汁で元気注入

1月8日(日) 地域の安心安全を願って

新春恒例 伯耆町消防団出初式

伯耆町消防団新春恒例の出初式が1月8日（日）、伯耆町農村環境改善センターで開催されました。総勢93人の団員が、今年1年の地域の安心安全を願って、防火防災の決意を新たにしました。

式典では、長年消防団員を務めた功績などをたたえ、32人の団員に、大江國夫消防団長から表彰状が贈られました。また、森安保町長が「一人ひとりの活動が、地域住民の安心安全につながっている」と話し、この1年の団員の活動を労いました。

その後、団員らは日野川土手に移動し、サイレンが鳴ると同時に、日野川に向かって一斉に放水しました。



▲大江団長から表彰状を受け取る第5分団・仲田哲也団員



▲日野川に向かって鮮やかな放物線を描いた一斉放水